OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	大阪大学アーカイブズニューズレター　第10号
Author(s)	
Citation	大阪大学アーカイブズニューズレター. 2017, 10, p. 1-12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65085
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

ISSN 2187-7270

大阪大学
アーカイブズニューズレター

OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

第10号　2017.9.30

目次：

大阪大学南校閉鎖記念式	1	受贈刊行物（2017年3月~2017年8月）	7
熊本大学文書館について	2	業務日誌（抄）（2017年3月~2017年8月）	11
社学共創本部の発足にあたって	5	利用案内 等	12
大阪大学社学共創本部設置要項	6		

大阪大学南校閉鎖記念式

旧制浪速高等学校と旧制大阪高等学校は、新制大阪大学発足にともない、それぞれ大阪大学北校、大阪大学南校となり、一般教養を担当しました。南北に別れていた分校は、1960（昭和35）年４月１日に統合しました。これに伴い南校が閉鎖されることになり、翌４月２日に南校において閉鎖記念式が開催されました。

（菅　真城）

熊本大学文書館について

熊本大学文書館　特別研究員　上野平 真希

１．はじめに

平成28（2016）年４月、熊本大学文書館が設置された。その目的は大きく２つあり、第一に熊本大学（以下本学）の歴史に関する資料・学術的な資料の収集・管理及び公開を行い教育研究の推進に資すること、第二に法人文書の管理により本学の適切な管理運営に寄与することが挙げられる。法人文書の管理については学内での調整が必要なことから、現在は第一に掲げた本学の歴史に関する資料や学術的な資料の収集・公開を中心に行っている。

２．熊本大学文書館ができるまで

熊本大学では平成20年４月より60年史編纂事業を開始した。同事業において通史編・部局史編・資料編（写真集）の３巻と別編１冊を刊行し、平成26年３月を以て編纂事業を終了した。

編纂終了後、編纂事業において収集した膨大な資料の保存・整理と今後の大学史資料の収集が問題となった。編纂事業において使用していた部屋は資料の長期保存に適さないことから、旧外国人宿舎を改修して資料を移管することが決まった。しかしこれらの編纂資料や今後新たに出てくるであろう大学史資料、あるいは本学にかかわる学術的な資料の収集・保存をどのようにするかについては未定であった。そこで編纂事業に携わっていた研究員を当面運営基盤管理部総務ユニット所属として引き続き雇用し、今後について検討することとなった。

平成26年４月、60年史編纂事業の際に各学部等で使用した資料の移管が行われ、資料目録の作成を開始した。また並行して新書庫の整備が進められ、同年７月に編纂用資料をすべて新書庫に移動させ、編纂事業で使用していた建物を一度引き払った。この年はどのような形で資料をアーカイブ化していくかについて各大学の状況の調査が進められた。

平成27年５月、文書館設置検討委員会の設置が総合企画会議において決定した。これを受けて委員が選定され、８月に第１回委員会が開催された。第１回委員会において文書館を設置することにおおむね同意がなされ、不足する資料保存のための施設については附属図書館の旧館の空きスペースを使用する旨が提案された。11月下旬に第２回委員会が開かれ、設置上の問題が確認されるとともに、文書館設置について総合企画会議に答申することが決定した。文書館設置の一番の問題は人員と資料保存施設の改修問題であった。検討の結果、当面は文書館の人員は館長（兼任）１名・研究員１名とし、施設は既存の建物を活用することになり、平成28年４月１日付で熊本大学文書館が設置されることが決まった。

３．構成員、施設

国立大学を取り巻く現状は厳しいものであり、こうした中で熊本大学文書館も限られた人員・予算で運営している。平成29年８月現在の構成は、館長（学長が指名する理事、兼任）１名、教員（教授、兼任）１名、研究員（専任）１名、事務職員（専任）１名の計４名である。うち教員１名と事務職員１名は本年度より配置された。

文書館専有施設として２つの建物が割り当てられている。いずれも一軒家ほどの大きさの建

物である。１つ目が黒髪キャンパス南地区にある文書館の本館で、これは明治41年に建てられた煉瓦造り２階建ての建物（元は熊本高等工業学校の講堂附属書庫）を改装したものである。事務室（19㎡）、閲覧室（17㎡）、資料整理室（23㎡）、館長室（10㎡）、会議室（17㎡）を設けている。強度の関係から建物全体への荷重が制限されていることが難点であるが、大学本部とも近く、正門（赤門）とは道路を挟んで真向かいと立地には恵まれている。もう１つの建物は、黒髪キャンパス北地区にある文書館資料室（117㎡）である。元は外国人教師の宿舎として使用されていた平屋の建物（昭和41年築）を改修したもので、資料保存専用の建物として用いている。またこれらとは別に、附属図書館より旧館の１フロア（258㎡）を資料保管場所として使用させていただいている。

文書館外観

文書館資料室

４．熊本大学文書館の活動

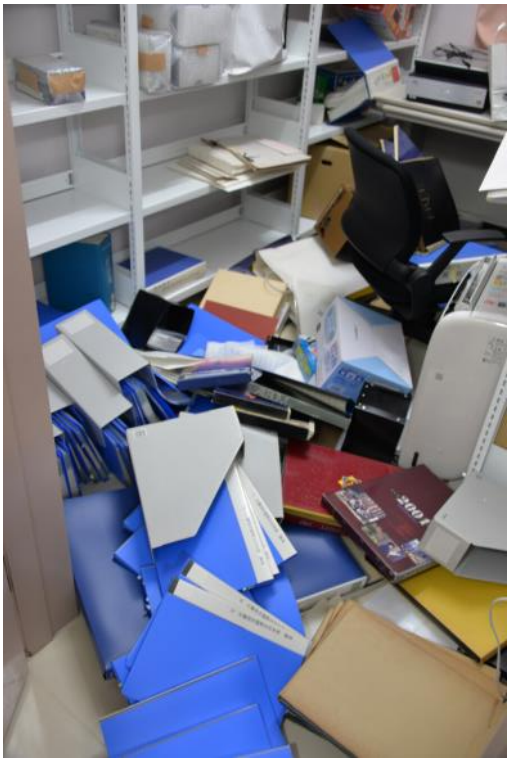
先に述べたように、熊本大学文書館は本学の歴史に関する資料や本学の学術研究の所産等を広く社会に公開することを企図して設置された組織である。現在は熊本大学60年史編纂時に収集された資料を中心に、準備が整ったものより随時公開を行っている。公開対象資料の情報は本学ホームページ内に設けた文書館のページに掲載している。現在公開しているのは本学の歴史に関する資料約3,650点、個人から寄贈を受けた資料約550点である。また本学あるいは地域における学術研究に資するため、熊本の地域に関する資料等についても適宜受け入れ・公開準備を行っている。

普及活動としては、平成28年度よりホームカミングデーにおける写真パネル展を開始した。本学の歴史に関する写真パネルの他、文書館が所蔵している珍しい資料を文書館内のスペースを利用して展示し、大学の懐かしい姿を自由見学でご覧いただこうというものである。昨年度初めて開催し、来館者の方に好評いただいた。文書館の周知、本学の歴史に関する問い合わせや資料の情報を提供いただく良い機会にもなった。また本年度は５月に宮崎で開催された九州連合同窓会において、本学における熊本地震の被害状況等に関する写真パネル展を行った。

５．熊本地震と文書館

平成28年４月14日・16日に、熊本地方を中心とする激しい地震が発生した。熊本地震である。本学の位置する熊本市中央区は余震で震度６弱、本震で震度６強を記録した。これにより本学も建物や実験器具等に大きな被害を受けた。なかでもひどい被害を受けたのは五高記念館・化学実験場（明治22年築。国指定重要文化財）、工学部研究資料館（明治41年築。国指定重要文化財）、工学部１号館で、いずれの施設も今後数年をかけて復旧工事を行っていく予定である。

文書館はというと、幸いにさほどの被害はなかった。しかしながら落下した資料の確認と再配架、各書架の資料の再落下防止のための固定には時間を要した。また文書館の事務室を置いている建物が大変古いうえ、同年築・同じ煉瓦造りの工学部研究資料館が今後数年立ち入り禁止となるほどの被害を受けたことから、文書館も建物の安全が確認できるまで３か月ほど避難先の資料室（資料保管庫）を仮の事務室として業務を行った。



地震発生後の文書館の様子

地震関連の活動としては、地震により閉館中の五高記念館所蔵の貴重資料類（文書資料・扁額・絵画・棟札等）や熊本市熊本城調査センター所蔵の絵図等、甚大な被害を受けた施設が所蔵する資料の避難場所となったことが挙げられる。なお本学の被災建物の法人文書については、本学文書館の人員が非常に限られていること、現時点では法人文書の管理に関して文書館が権限を持たないことから、各担当において対応することとなった。

６．今後について

冒頭でも述べた通り、本学における法人文書管理については、現時点の体制では文書館がかかわっていくことが難しい状態である。これについては今後検討が進められる予定である。当面は収集アーカイブズとしての活動を中心としており、具体的には、大学史や本学の学術研究に関する資料の収集・整理・公開を進めている。

この中の一つが、本学が長年取り組んできた水俣病の研究に関する様々な資料群の受け入れ・整理と公開方法の検討である。学内外の組織や関係者が所蔵されている資料を学術資料として広く研究利用に供するため、また将来の一般公開に向けて収集し、目録作成等の作業を進めている。水俣病関係学術資料の他にも、本学の歴史・学術に関する資料や地域に関する資料の収集・整理を進めており、随時公開を予定している。これらの資料の中には大変デリケートな個人情報を含むものも少なくない。公開にあたっては十分に内容を確認し、配慮する必要がある。このような大学における学術資料の受け入れ・公開・活用の方法についても、今後文書館において調査・検討を進めたい。

社学共創本部の発足にあたって

大阪大学アーカイブズ　室長　飯塚　一幸

本年８月26日、大阪大学に社学共創本部が設立されました。その目的は、「市民、企業、自治体等（以下「社会等」という。）が抱える課題を発掘するとともに、社会等との対話により、社会等と大学の双方向な社学共創活動を円滑かつ効果的に推進する」ことにあります。社学共創本部の設置要項では、そうした目的を果たしていくために、これまで社学連携活動を担ってきた、大阪大学21世紀懐徳堂、大阪大学総合学術博物館、大阪大学適塾記念センター及び大阪大学アーカイブズと協働しつつ、活動していくことが謳われています。また、社学共創本部の発足にともない、前記４組織の専任教員は同本部へ移り、これまで所属していた４組織については兼務となりました。

本学では早くから社学連携事業が盛んに行われてきました。創立90周年にあたる2021年を見据えて策定された「OU（Osaka University）ビジョン2021」では、本学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」を実践していくために、「多様な知と人材が交差し、新たな価値を創出できるオープンコミュニティを創」りだそうと、「社学共創による学術・文化・芸術の地域拠点の形成」を目標に掲げています。西尾章治郎総長の「年頭所感2017」においても、「社学共創機構」の設置が具体的課題として明示されました。こうした経緯を経て、社学共創本部の設立に至ったわけです。

次に、もう少し踏み込んで社学共創本部の中身について紹介しましょう。新たに設置された社学共創本部には、社学共創フロンティア部門、インターウィーヴ共創部門、共創エデュケーション部門、パブリック・リサーチ部門という４つの部門が設けられました。その概要は以下のとおりです。

一つ目の社学共創フロンティア部門は、自治体や企業、NPOや市民との協働の委員会等を設置して、課題探求のための対話を推進し、学内の研究資源やヘリテージリソース、学内研究との結びつきをコーディネートする役割を果たします。いわば大阪大学の目指す社学共創の窓口となることを期待されている部門です。

二つ目のインターウィーヴ共創部門は、各種委員会等で検討した課題を基に事業案を協議し、講座・講演会・シンポジウム・カフェなどの具体的事業を展開する部門です。また、そうした事業の実施を通して問題を再認識したり新たな課題を見出したりして、改めて事業を練り直していく循環型の文化事業の展開を構想しています。

三つ目の共創エデュケーション部門は、教育プログラムの企画・実施、各種の社会事業や催事への参画、運営補助を通じた人材育成、学生の社会貢献活動への支援、学内各部局で展開されている社学共創的授業や催事・各種プログラムとの連携を図る部門です。

四つ目のパブリック・リサーチ部門は、各部局や総合学術博物館、適塾記念センター、アーカイブズ等に散在する研究資源をリサーチし、社学共創の観点からデータベース等を構築する研究リサーチ活動、そうした各種データについて社学共創を発展させる観点からデータビリティ機構とも連携しつつ解析し、事業の展開に役立てる活動、社学共創本部の各種事業の成果を公開、発信する活動を行う部門です。

社学共創本部は立ち上がったばかりであり、四つの部門もこれから具体的な活動を行っていく中で、徐々にその姿を現していくことになるでしょう。アーカイブズにとっても、社学共創本部との協働により何ができるのかが問われることになります。いくつかのアイデアや、こんなことができたらいいなといった希望はありますが、現有のスタッフが増えるわけではないので、現在の活動の量質を落とさずに適正な解を見つけていきたいと考えています。もう一つ、箕面キャンパスの移転にともない引越しすることになったアーカイブズの落ち着き先が決まれば、社学共創本部との協働も一段と進展する筈です。その点でも、この懸案の解決がますます重要になっているのです。

大阪大学社学共創本部設置要項

（設置）
第１条　大阪大学（以下「本学」という。）に、大阪大学社学共創本部（以下「社学共創本部」という。）を置く。

（目的）
第２条　社学共創本部は、市民、企業、自治体等（以下「社会等」という。）が抱える課題を発掘するとともに、社会等との対話により、社会等と大学の双方向な社学共創活動を円滑かつ効果的に推進することを目的とする。

（本部長）
第３条　社学共創本部に社学共創本部長（以下「本部長」という。）を置き、理事又は総長参与のうちから総長が指名する者をもって充てる。

（副本部長）
第４条　社学共創本部に社学共創本部副本部長（以下「副本部長」という。）を若干名置き、本学の教職員のうちから本部長が指名する者をもって充てる。
２　副本部長は、本部長の職務を補佐する。
３　副本部長の任期は２年とし、再任を妨げない。

（関係組織との協働）
第５条　社学共創本部は、第２条の目的を達成するため、大阪大学２１世紀懐徳堂、大阪大学総合学術博物館、大阪大学適塾記念センター及び大阪大学アーカイブズと協働する。

（部門）
第６条　社学共創本部に、前条の組織が担う社学共創機能の強化を図るため、次の部門を置く。
　社学共創フロンティア部門
　インターウィーヴ共創部門
　共創エデュケーション部門
　パブリック・リサーチ部門
２　前項の部門に部門長を置き、本学の教職員のうちから本部長が指名する者をもって充てる。
３　部門長の任期は２年とし、再任を妨げない。

（本部会議）
第７条　社学共創本部に、本学の社学共創の基本方針その他社学共創本部の運営に関し必要な事項を審議するため、社学共創本部会議（以下「本部会議」という。）を置く。
２　本部会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。
(1)　本部長
(2)　副本部長
(3)　部門長
(4)　２１世紀懐徳堂学主
(5)　総合学術博物館長
(6)　適塾記念センター長
(7)　アーカイブズ室長
(8)　その他本部長が必要と認めた者
３　前項第８号の委員の任期は、２年とし、その欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
４　本部会議に議長を置き、第２項第１号の委員をもって充てる。
５　議長は、本部会議を主宰する。
６　議長が必要と認めたときは、委員以外の者を本部会議に出席させることができる。
７　本部会議は、委員の半数以上の出席により成立する。
８　本部会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。
９　前各号に定めるもののほか、本部会議に関し必要な事項は、別に定める。

（教職員）
第８条　社学共創本部に、必要な教職員を置く。

（事務）
第９条　社学共創本部に関する事務は、企画部男女協働推進・社学連携課が総務部総務課文書管理室及び総合学術博物館事務部の協力を得て行う。

（雑則）
第１０条　この要項に定めるもののほか、社学共創本部に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

附　則

この要項は平成２９年８月２６日から施行する。

受贈刊行物 （2017年3月～2017年8月）

愛知大学東亜同文書院大学記念センター
東亜同文書院記念基金会ニュース　第17号、同文書院記念報 vol.25、東亜同文書院の45年　愛知大学の70年

追手門学院大学学院志研究室
学院志研究室　NEWS LETTER　第2～5号

大阪女学院
大阪女学院ヘールチャペル国登録有形文化財(建造物)登録記念講演会　ヴォーリズ建築に抱かれて(チラシ)、大阪女学院教育研究センターNewsletter　第12号、大阪女学院ヘールチャペル「ヴォーリズ建築に抱かれて」

大阪市立大学大学史資料室
大阪市立大学史紀要 第9号、大学史資料室ニュース 第21号

学習院アーカイブズ
学習院アーカイブズニューズレター　第10号

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻
GCAS Report Vol.6、学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻　アーキビストを志す。(チラシ)

神奈川大学資料編纂室
神奈川大学史紀要　第2号

金沢大学資料館
金沢大学資料館紀要 第12号、金沢大学資料館だより Vol.52

関西大学年史編纂室
関西大学をまなぶ、関西大学社会学部創設50周年記念事業 人と社会をみつめて－関西大学社会学部50年のあゆみ－(パンフレット)

関西学院大学学院史編纂室
関西学院史紀要　第二十三号

関東学院学院史資料室
関東学院学院史資料室ニューズ・レター　No.20

九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻年報2016/2017

九州大学大学文書館
九州大学大学文書館ニュース　第40号、九州大学大学史料叢書　第23輯

京都産業大学
サギタリウス　vol.75・76

京都大学大学文書館
京都大学大学文書館研究紀要　第15号、京都大学大学文書館企画展　京都大学の創立　－百二十年前を振り返る－(チラシ)、京都大学大学文書館だより　第32号

近畿大学建学史料室
A Way of Life－Seko Koichi－ 世耕弘一先生建学史料室広報 23号

慶應義塾福澤研究センター
近代日本研究　第33巻、慶應義塾福沢研究センター通信　第26号、福澤諭吉　慶應義塾史　新収資料展　歴史資料を通して見る慶應義塾の人と教育(チラシ)、2017年度　福澤研究センターシンポジウム「東アジアの近代とアメリカ留学」(チラシ)

皇學館大学研究開発推進センター
皇學館大学研究開発推進センター紀要　第3号

神戸国際大学学術研究会
神戸国際大学経済経営論集　第37巻第1号、神戸国際大学紀要　第92号、経済文化研究所年報　第26号

神戸女学院史料室
學報　NO.179・180、学院史料　Vol.30

國學院大學研究開発推進機構 校史・学術資産研究センター
國學院大學　校史・学術資産研究　第九号、校史　Vol.27、國學院の古典学

国士舘史資料室
国士舘史研究年報楓原　第8号

駒澤大学禅文化歴史博物館
駒澤大学禅文化歴史博物館企画展　頂相　～禅僧の肖像画～(ポスター・パンフレット)、駒澤大学禅文化歴史博物館企画展 黄檗の伝来と江戸の禅宗

淑徳大学アーカイブズ
淑徳大学アーカイブズ・ニュース　第14・15号

女子美術大学歴史資料室
写真にみる女子美の歩み－本郷から和田まで－(チラシ)

成城学園教育研究所
成城教育　第175・176号

西南学院史資料センター
西南学院史紀要　第12号、西南学院百年館(松緑館)　西南学院史資料センター(パンフレット)

専修大学大学史資料課
専修大学史資料集　第八巻「反骨」の弁護士　今村力三郎、専修大学史紀要　第9号、文型私立大学における学徒出陣の基礎的研究　研究成果報告書

大東文化大学百年史編纂委員会
大東文化大学史研究紀要　創刊号

拓殖大学創立百年史編纂室
拓殖大学百年史　通史編二　昭和前期

玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館館報　第14号、玉川大学教育博物館紀要 第14号

多摩美術大学
多摩美術大学研究紀要 第31号、多摩美術研究 第6号 2017年

中央大学
中央大学史資料集　第28集

東京学芸大学教育研究支援部大学史資料室事務室
東京学芸大学大学史資料室報　vol.4

東京経済大学史料室
大倉喜八郎述　致富の鍵

東京大学文書館
東京大学文書館ニュース　第58号、東京大学史紀要　第35号

同志社大学同志社社史資料センター
同志社談叢　第37号、新島研究　第108号、ハリス理化学館同志社ギャラリー第12回企画展　同志社大学地球研究会創立50周年記念　新島襄が感じた地球(チラシ・ポスター)、同志社大学同志社社史資料センター報　第13号

東北学院東北学院史資料センター
東北学院史資料センター年報　Vol.2

東北大学史料館
東北大学史料館　黒田チカ資料目録、東北大学史料館だより No.26、東北大学史料館紀要　第12号

東洋英和女学院
楓園　No.83、史料室だより　No.88、東洋英和女学院　資料集 第4・5号

東洋大学井上円了研究センター
井上円了センター年報　Vol.25、東洋大学　創立寄付者名簿

富山大学アーカイヴズ設置検討準備室
富山大学アーカイヴズ・ニューズレター　第4号

長崎大学
広報誌CHOHO　Vol.59・60、長崎大学リレー講座2017　失敗を超える力

名古屋大学大学文書資料室
名古屋大学大学文書資料室紀要　第25号、名古屋大学大学文書資料室ニュース　第34号

南山アーカイブズ
南山アーカイブズニュース　第9号、第1回南山アーカイブズ企画展　アントニン・レーモンドと南山学園(チラシ・ポスター)、アルケイアー記録・情報・歴史－　第11号、南山学園史料集12　五軒家町キャンパス構想

日本女子大学成瀬記念館
成瀬記念館　2017　No.32

日本大学企画広報部広報課(大学史)
大学史論輯　鬱誌 第12号、日本大学大学史ニュース 第12号

一橋大学創立150年史準備室
一橋大学創立150年史準備室ニューズレター　第3号

広島大学高等教育研究開発センター
大学論集　第49集、高等教育研究叢書　134　付加的プログラムの展開から見たアジアの大学教育、高等教育研究叢書　135　アジアの大学入試における格差是正措置、高等教育研究叢書

136　わが国における大学職員の仕事と職場環境、高等教育研究叢書　137　スーパーグローバル大学創成支援事業による広島大学の教育力・研究力強化　－客観的指標に基づく国際水準の達成－、高等教育研究叢書　138　大学運営におけるリーダーシップ　－第44回(2016年度)研究員集会の記録－、コリーグ　No.50、HIGHER EDUCATION FORUM　Volume 14

広島大学文書館
広島大学文書館紀要　第19号、広島大学文書館蔵　今中比呂志関係文書目録、広島大学文書館蔵　原田康夫関係文書目録

フェリス女学院資料室
フェリス女学院資料室紀要　あゆみ　第70号

法政大学大原社会問題研究所
法政大学大原社会問題研究所　環境アーカイブズニューズレター　第2号、法政大学大原社会問題研究所　環境アーカイブズ(リーフレット)

法政大学史委員会
「法政大学と出陣学徒」事業報告書(上) 法政大学と出陣学徒

北海道大学大学文書館
北海道大学大学文書館年報　第12号

武蔵野美術大学大学史史料室
武蔵野美術大学年報　2011～2013

明治学院歴史資料館
明治学院歴史資料館資料集　第12集　Telling Tales on Tokyo『東京がたり』、明治学院歴史資料館ニュースレター No.8

明治大学史資料センター
大学史紀要　第22号　阿久悠研究Ⅲ、大学史紀要　第23号　明治大学人権派弁護士研究Ⅲ　山崎今朝弥研究2、ニュースレター明治大学史　No.13

桃山学院史料室
桃山学院年史紀要　第36号、桃山学院の歴史　2017

立教学院史資料センター
立教学院史研究　第14号

立教学院展示館
立教ディスプレイ　立教学院展示館年報　Vol.2、立教学院展示館第3回企画展/ポール・ラッシュ生誕120年企画　わが人生、日本の青年に捧ぐ　－知られざるポール・ラッシュ物語－(チラシ)

立正大学史料編纂室
立正大学史紀要　第2号、『立正大学史料編纂室の栞』第3号

立命館　史資料センター
立命館創立者生誕150年記念　中川小十郎　研究論文・図録集

あおぞら財団
資料館だより　No.60・61、くじらカフェ　9月オープン

旧制高等学校記念館
記念館だより　第71・72号、旧制高校と東京帝国大学展(チラシ)

国文学研究資料館
平成29年度　アーカイブズ・カレッジ史料管理学研修会(パンフレット)、史料目録第104集　守屋栄夫文書目録(その2・完)、史料目録第105集　佐渡国加茂郡原黒村鵜飼家文書目録(その1)、ブックレット　書物をひらく4　和歌のアルバム　藤原俊成　詠む・編む・変える、ブックレット　書物をひらく5　異界へいざなう女絵巻・奈良絵本をひもとく、国文研ニューズ　No.47・48、立川の研究者たち　インタビューで知る「国文研」の人と仕事、古典籍共同研究事業センターニューズ　ふみ　第8号、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」　第3回　日本語の歴史的典籍国際研究集会(チラシ)

全国大学史資料協議会東日本部会
大学アーカイヴズ　No.56

全国大学史資料協議会西日本部会
全国大学史資料協議会西日本部会会報　第33号

帝国データバンク史料館
帝国データバンク史料館だより　Muse　Vol.29、常設展「テーマ展示」コーナー新企画　プランゲ文庫とその時代　GHQ検閲資料が伝える戦後出版文化の素顔(チラシ)

人と防災未来センター資料室
資料室ニュース　vol.62・63

わだつみのこえ記念館
わだつみのこえ記念館　記念館だより　No.11

秋田県公文書館
秋田県公文書館研究紀要　第23号、秋田県公文書館だより第32号、広報誌「古文書倶楽部」第76号

天草市立天草アーカイブズ
平成28年度　天草市立天草アーカイブズ年報　第14号

岡山県立記録資料館
岡山県立記録資料館紀要　第12号、岡山県記録資料叢書12岡山県明治前期資料三(十三・十四年)、岡山のアーカイブズ　6～記録資料館活動成果資料集～

沖縄県公文書館
琉球政府文書デジタルアーカイブ　琉政だより(パンフレット)、琉球政府文書デジタルアーカイブ(ポスター)、琉球政府文書デジタルアーカイブ　琉政だより　NO.01～03、記録を残す・記憶をつなぐ　沖縄県公文書館　ガイドブック　2017、沖縄県公文書館だより　ARCHIVES 第52・53号、沖縄県公文書館(リーフレット)

小布施町文書館
小布施町文書館だより　Vol.5

外務省外交史料館
外交史料館報　第30号

香川県立文書館
香川県立文書館　収蔵文書目録第19集　讃岐国三野郡財田中村　大矢家文書目録(2)、香川県立文書館史料集4　年来実録　河口友右衛門日記　日誌(丸亀歩兵十二連隊)関東大震災の際遭難した香川県民の手記、香川県の挑戦昭和のビッグプロジェクト　－番の州・香川用水・瀬戸大橋－、香川県立文書館平成29年度アーカイブズ講座「公文書と地域資料の保存と利用」、江戸・明治のビッグプロジェクトと讃岐人(チラシ)

神奈川県立公文書館
神奈川県立公文書館だより　第36号、平成28年度　神奈川県立公文書館年報

京都府立京都学・歴彩館
京都府立総合資料館　資料館紀要　第45号

宮内庁書陵部
昭和天皇実録　第十　自　昭和二十一年　至　昭和二十四年、昭和天皇実録　第十一　自　昭和二十五年　至　昭和二十九年、昭和天皇実録　第十二　自　昭和三十年　至　昭和三十四年、書陵部紀要　第68号・第68号〔陵墓篇〕

国立公文書館
国立公文書館ニュース vol.9・10、国立公文書館報北の丸　第49号、平成29年春の特別展「誕生　日本国憲法」(チラシ・ポスター)

埼玉県立文書館
埼玉県立文書館収蔵文書目録　第56集　黒田(小)家文書目録諸家文書目録Ⅸ、埼玉県史料叢書　19　埼玉県布達集　三、文書館紀要　第30号

相模原市立公文書館
相模原市立公文書館だより　第5号、公文書館年報(平成28年度の運用状況報告)

札幌市総務局行政部公文書館
札幌市公文書館年報平成28年度(2016年度)　第4号

滋賀県県民生活部県民活動生活課県民情報室県政史料室
滋賀のアーカイブズ　滋賀県県政史料室だより　第2号

大東文化歴史資料館
大東文化歴史資料館だより　第22号

太宰府市公文書館
太宰府市公文書館紀要－年報太宰府学－　第11号、太宰府市公文書館報　平成28年度

東京都公文書館
東京都公文書館だより　第30号

栃木県立文書館
栃木県立文書館収蔵文書図録2、栃木県史料所在目録　第46集、栃木県立文書館研究紀要　第21号、文書館だより　第59号

長野県信濃美術館
長野県信濃美術館　東山魁夷館　展覧会のご案内　2017.4-2018.3、解体直前　アーティスト・イン・レジデンスin長野県信濃美術館　若手美術作家募集！、「ウィンザーチェア　日本人が愛した英国の椅子」開催のご案内(チラシ・招待券)、クロージング　ネオヴィジョン　新たな広がり(チラシ)

長野県立歴史館
長野県立歴史館だより　vol.90～92、平成28年度冬季展　信濃

国の城と城下町－発掘調査が謎を解く－、催しもの案内(リーフレット)、平成29年長野県立歴史館巡回展　長野県の遺跡発掘2017(チラシ・ポスター)、長野県立歴史館研究紀要　第23号、長野県立歴史館収蔵文書目録　16、近代村絵図・地図の世界　明治の地図はどうつくられたか　長野県絵図・地図共同研究報告書、平成29年度夏季企画展　長野県誕生！　－公文書・古文書から読みとく－(チラシ・ポスター)、平成29年度夏季企画展　長野県誕生！　－公文書・古文書から読みとく－、平成29年度秋季企画展「縄文土器展Ⅱ」進化する縄文土器　～流れるもようと区画もよう～(チラシ・ポスター)、平成29年度長野県立歴史館巡回展　長野県の遺跡発掘2017(ポスター)

長野市総務部庶務課
市誌研究ながの　第24号、長野市公文書館便り　Vol.26～29

新潟県立文書館
新潟県立文書館年報　第25号

新潟県歴史資料保存活用連絡協議会事務局
古文書保存・整理の手引き【改訂版】

新潟市文化スポーツ部歴史文化課
新潟市歴史資料だより　第24号

八王子市市史編さん室
新八王子市史　通史編3近世(上)・通史編6近現代(下)・通史編4近世(下)

広島県立文書館
広島県立文書館だより　No.41

福井県立文書館
福井県立文書館資料叢書13　福井藩士履歴5　の～ま、福井県文書館研究紀要　第14号

福岡共同公文書館
福岡共同公文書館だより　vol.08・10・11、福岡の広報紙展～伝えたい！知って欲しい！行政の取組み～(チラシ)、平成28年度福岡共同公文書館年報　年報第5号

福岡市総合図書館
平成28年度　古文書資料目録　22、福岡市総合図書館研究紀要　第17号

福島県文化振興財団
福島県歴史資料館収蔵資料目録　第48集　県内諸家寄寄託文書(2)、福島県史料情報　第47・48号

藤沢市文書館
藤沢市史料集(四十一)　藤沢町誕生期の議会　－明治41年度－、歴史をひもとく藤沢の資料　2　村岡地区

北海道立文書館
赤れんが　北海道立文書館報　No.52、北海道立文書館調査研究事業報告書　第4号

松本市文書館
松本市史研究　松本市文書館紀要　第27号

山口県文書館
山口県文書館研究紀要　第44号、文書館ニュース　No.51

和歌山県立文書館
和歌山県立文書館だより　第48・49号、和歌山県立文書館紀要第19号、古文書徹底解釈 紀州の歴史 第四集

日本アーカイブズ学会
日本アーカイブズ学会　2017年度大会(チラシ)

大阪大学総務部
いちょう祭　2017(ポスター・パンフレット)、挑戦の起業家精神　日新電機グループ100年史

大阪大学企画部
大阪大学ニューズレター　No.75・76、阪大NOW　№152、阪大ニューズレター(Handai　NEWS　Letter)　No.31～No.62、阪大NOW　自第一〇一号　至第一三三号(阪大NOW)

大阪大学研究推進・産学連携部
科研費応募支援リーフレット

大阪大学全学教育推進機構
「平成29年度全学共通教育科目　履修の手引」別冊　入学当初の履修の流れについて、Transdisciplinary learning Guide　2017(パンフレット)、大阪大学高等教育研究　01～05、大阪大学ファカルティ・ディベロップメントプログラムガイド　2017年度　4月～9月、学部高学年生と大学院生のための学際融合教育ガイド2017(パンフレット)、大学教員になりたいあなたへ　未来の大学教員養成プログラム(チラシ・ポスター)、平成29年度　大阪大学　知のジムナスティックス(高度教養プログラム)－3年次以上の学部学生及び大学院学生対象－、平成29年度　大阪大学大学院副専攻プログラム大学院等高度副プログラム、平成29年度　全学共通教育科目履修の手引　2017、平成29年度授業時間表　1年次用、平成29年度全学共通教育科目授業時間表　2年次用

大阪大学男女協働推進センター
大阪大学男女協働推進センターNEWS　No.2

大阪大学21世紀懐徳堂
「なぜたどりつけるの？」を科学する　第1回「鳥の背中にのって、空を、街を、海を見る」(チラシ)、「なぜたどりつけるの？」を科学する　第2回「ロボットと人工知能で、動物の心を読む」(チラシ)、21世紀懐徳堂CAカフェ　アンドロイドが目指す人間らしさについて(チラシ)、21世紀懐徳堂スタジオ機材使用講習会開催　10月27日(木)17:00～19:00(チラシ)、21世紀懐徳堂スタジオ機材使用講習会開催　2月12日(金)17:00～19:00(チラシ)、21世紀懐徳堂スタジオ機材使用講習会開催　6月8日(水)17:00～19:00(チラシ)、i-spot講座　2016年度後期テーマ　大阪、まちの景色(チラシ)、i-spot講座　2016年度前期テーマ　いろいろとつながる　その2(チラシ)、i-spot講座　2017年度前期テーマ　家族のかたち(チラシ)、i-spot講座　世界の文学(チラシ)、i-spot講座　太陽と月の物語(チラシ)、i-spot講座　化ける・変わる・転じる(チラシ)、大阪大学×KNOWLEDGE　CAPITAL　ナレッジキャピタル超学校中高生のためのUMEKITA科学塾　2016年8月－11月(チラシ)、大阪大学×ナレッジキャピタル「わたしの研究、今、ココです！」2016 Vol.7　青い地球ができるまで　－太陽系年代学入門－(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂活動報告書　2015、大阪大学21世紀懐徳堂塾　OSAKANCAFE⑦　人形遣い物語(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂塾　OSAKANCAFE⑧　服部良一と道頓堀ジャズ・エイジ(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂塾　Rekishiカフェ　日本音楽はどこから来たのか　－空想の起源説と音楽史－(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂シンポジウム　第1回　地域劇場の未来　大学と地域との繋がりのために(チラシ)、大学ミュージアムの未来　大阪大学21世紀懐徳堂シンポジウム　第2回　ミュージアムピースを活用した大学の「コトづくり」(チラシ)、大阪大学21世紀懐徳堂だより　vol.25～30・32・33(リーフレット)、大阪大学21世紀懐徳堂公開対談　髙田郁×鈴木敦子　「近世呉服商経営のダイナミズム～ただ金銀が町人の氏系図になるぞかし」(チラシ・パンフレット)、大阪大学シンポジウム　共創の好循環へ　女性が輝く関西をめざして(チラシ)、大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座　Handai-Asahi中之島塾　2016年4～6月期(チラシ)、大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座　Handai-Asahi中之島塾　2017年(チラシ)、大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座　Handai-Asahi中之島塾　2017年3～6月期(チラシ)、大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座　Handai-Asahi中之島塾　2017年5～6月期(チラシ)、大阪大学における社会貢献・アウトリーチ活動の現状と成果～大学と社会のよりよいつながりを目指して～、大阪大学の歴史を訪ねて　中之島ぶらりぶらりMAP、気軽におしゃべりサイエンス　Science café @大阪大学歯学部附属病院　vol.2・5(チラシ)、第15回　植物探検隊@春の待兼山を訪ねて(チラシ)、第16回　植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて(チラシ)、第17回　植物探検隊@春の待兼山を訪ねて(チラシ)、第18回　植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて(チラシ)、第48回　大阪大学公開講座　前期テーマ：老いの未来(ポスター・パンフレット)、第49回　2017　大阪大学公開講座　老年学－輝く老いを科学する－(パンフレット)、第8回大阪大学×大阪音楽大学ジョイント企画　あなたがみるもの　私にみえるものこどもの世界、おとなの世界(チラシ・パンフレット)、、デンマーク・日本外交関係樹立150周年記念　社学連携プロジェクト　ビールが結ぶデンマークと日本　～Carlsbergとサントリーのつながり～(リーフレット)、夏休みは親子でi-spot講座(チラシ)、ナレッジキャピタル超学校　2017年7～8月　中高生のためのUMEKITA科学塾(チラシ)、日本惑星科学会　公開講演会　月の科学の最前線(チラシ)、マンガカフェ26　海の向こうで、BLはどうなっているのか？　～藤本由香里さんを迎えて(チラシ)、ラボカフェ　01　JANUARY　2017、ラボカフェ　03　MARCH　2017、ラボカフェ　08　AUGUST　2016、ラボカフェ　09　SEPTEMBER　2016、ラボカフェ　10　OCTOBER 2016、ラボカフェ　11　NOVEMBER 2016、大阪大学×大阪ガス　アカデミクッキング　漢方で、心と体のレジリエンス(回復力)を高めよう！(チラシ)、大阪大学×大阪ガス　アカデミクッキング　作って、学んで、食べて！　三度おいしいドキドキ考古学(チラシ)、大阪大学×大阪ガス　アカデミクッキング　スパイス研究科とめぐる世界のカレー旅(チラシ)、神戸医療産業都市・京コンピューター一般公開特別企画　サイエンスアゴラ in KOBE　～科学って本当に大事？～(チラシ)

大阪大学適塾記念センター
新発見！　緒方洪庵夫人　八重のてがみ(チラシ・ポスター)、第九回適塾講座<全3回>　歴史のなかの適塾　私たちは適塾から何を学び、どう語ってきたか(チラシ)、第10回適塾講座＜全3回＞　近世・近代の大阪と女性(チラシ)、適塾かわら版　巻一、適塾記念会(チラシ)、平成28年適塾特別展示　洪庵・惟準から伝わる緒方家の至宝(チラシ・ポスター)、平成28年度　大阪大学適塾記念講演会(チラシ・ポスター)

大阪大学安全衛生管理部
Yamete～写真でヤメて～　阪大の隠れタバコ防止装置がハンパない　学内は受動喫煙防止のため卒煙支援ブース以外は禁煙です。(ポスター)

大阪大学高等教育・入試研究開発センター
『研究大学における“学び”の調査SURU2015』によるデータで見る阪大生の学び1週間の学習時間を比べてみよう！、『研究大学における“学び”の調査SURU2015』によるデータで見る阪大生の学び海外の学生と阪大生の時間の使い方を比べてみよう！、『研究大学における“学び”の調査SURU2015』によるデータで見る阪大生の学び阪大生とアメリカ・中国の大学生を比較してみよう！

大阪大学経営企画オフィス
二頁だけの読書会　vol.8・9(チラシ)

大阪大学附属図書館
1966年度大阪大学教養部学生名簿、1968年度大阪大学教養部学生名簿、大阪大学経済学部 新制29期(昭和56年3月)卒業者名簿、大阪大学経済学部 新制30期(昭和57年3月)卒業者名簿、大阪大学経済学部 新制31期(昭和58年3月)卒業者名簿、大阪大学経済学部 新制32期(昭和59年3月)卒業者名簿、大阪大学経済学部 新制第34期同窓会名簿(昭和61年3月卒業)、大阪大学経済学部　新制第35期同窓会名簿(昭和62年3月卒業)、大阪大学経済学部同窓会名簿 昭和52年度、大阪大学経済学部同窓会名簿 昭和55年版、大阪大学経済学部同窓会名簿　昭和60年版、大阪大学経済学部同窓会名簿 平成元年版、大阪大学卒業者名簿　昭和54年版、大阪大学卒業者名簿 昭和59年版、大阪大学卒業者名簿　昭和63年版、大阪大学卒業生氏名録 自 昭和七年 至 昭和三十一年、大阪大学卒業生氏名録 昭和42年12月、大阪大学文学部・文学研究科 卒業生・修了生名簿 2002、大阪大学文学部同窓会名簿 1981.11、青雲会会員名簿 昭和53年度、青雲会 会員名簿 昭和55年度、青雲会会員名簿 昭和57年度、澪電会会員名簿 平成6年11月

大阪大学大学院文学研究科・文学部
フィロカリア　第34号

大阪大学大学院法学研究科・法学部
Handai Law Letter　第7号、大阪大学　法政実務連携センター2017(パンフレット)

大阪大学大学院理学研究科・理学部
大阪大学大学院理学研究科・理学部　PROFILE2017

大阪大学医学部附属病院
Handai Hospital　阪大病院ニュース　第66号、大阪大学医学部附属病院　要覧　2017

大阪大学大学院歯学研究科
概要　2017　大阪大学大学院歯学研究科・歯学部・歯学部附属病院・歯学部附属歯科技工士学校

大阪大学歯学部附属歯科技工士学校
平成30年度　学生募集要項

大阪大学大学院工学研究科・工学部
平成29年度 秋～冬学期 大阪大学工学部授業時間割、平成29年度 春～夏学期大阪大学工学部授業時間割、平成29年度(2017年度)工学研究科履修案内(平成29年度入学者用)、平成29年度 工学研究科博士後期課程授業時間割、平成29年度工学研究科博士前期課程授業時間割、大阪大学大学院工学研究科・工学部 要覧 2017、大阪大学大学院工学研究科・工学部　2017(リーフレット)

大阪大学大学院言語文化研究科
平成29年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」、平成29年度大阪大学大学院言語文化研究科公開講座「教員のための英語リフレッシュ講座」(チラシ)、大阪大学大学院 言語文化研究科要覧 2017、言語文化研究 43、言文だより 第34号－言語文化研究科2016－、言語文化共同研究プロジェクト2016 グローバル社会における英語教育の方法論、言語文化共同研究プロジェクト2016 自然言語への倫理的アプローチ、言語文化共同研究プロジェクト2016 テクストマイニングとデジタルヒューマニティーズ、言語文化共同研究プロジェクト2016 ポロトコニアル・フォーメーションズ ⅩⅡ(12)、言語文化共同研究プロジェクト2016 ドイツ啓蒙主義研究14、言語文化共同研究プロジェクト2016 表象と文化　ⅩⅣ、言語文化共同研究プロジェクト2016 言語文化の比較と交流 4、言語文化共同研究プロジェクト2016 時空と認知の言語学 Ⅵ、言語文化共同研究プロジェクト2016 認知・機能言語学研究 Ⅱ、言語文化共同研究プロジェクト2016 音声言語の研究 11、言語文化共同研究プロジェクト2016 批判的社会言語学のまなざし、言語文化共同研究プロジェクト2016 外国語教育の新しい局面(7)、言語文化共同研究プロジェクト2016「文化」の解読(17) －移動と衝突の文化現象－、言語文化共同研究プロジェクト2016 交差するレトリック －精神と身体、メタファーと認知－、言語文化共同研究プロジェクト2016 相互行為研究③－メディアと談話－

大阪大学大学院情報科学研究科
大阪大学大学院情報科学研究科　年報　第12号

大阪大学大学院高等司法研究科
大阪大学大学院高等司法研究科　法科大学院　2017～2018(パンフレット)

大阪大学蛋白質研究所
大阪大学蛋白質研究所レポート　平成27－28年度

大阪大学社会経済研究所
大阪大学社会経済研究所　第14回行動経済学研究センターシンポジウム　働き方改革(チラシ)

大阪大学接合科学研究所
6大学連携プロジェクトニュース Vol.1 No.1・2、TRANSACTIONS OF JWRI Vol.45 2016、文部科学省 全国共同利用附置研究所 学際・国際的人材育成ライフイノベーションマテリアル創製共同研究プロジェクト 平成28年度6大学連携プロジェクト 研究成果報告書

大阪大学低温センター
大阪大学低温センターだより No.167

大阪大学超高圧電子顕微鏡センター
大阪大学超高圧電子顕微鏡センター平成28年度年報

大阪大学環境安全研究管理センター
大阪大学環境安全研究管理センター誌「保全科学」第23号、環境安全ニュース　No.60

大阪大学国際教育交流センター
2017年度留学生日本語プログラム履修ガイド; Japanese Language Programs for International students 2017、OUSSEP CALENDAR: OSAKA UNIVERSITY SHORT-TEAM STUDENT EXCHANGE PROGRAM: Full-year OUSSEP, Half-year OUSSEP 2017-2018、大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会：参加団体活動概要、大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会：報告書　第25回、国立大学法人留学生センター等における留学生交流指導体制をめぐる最近の状況　平成28年度、世界・未来をともに学ぶⅥ　阪大留学生をリソースとした「国際理解教育」事例

大阪大学総合学術博物館
大阪大学総合学術博物館主催　記憶の劇場　大学博物館を活用する文化芸術ファシリテーター育成プログラム(チラシ)、大阪大学総合学術博物館第21回企画展　HANDAIロボットの世界　－形・動きからコミュニケーション　そしてココロの創生へ－(チラシ・ポスター)、記憶の劇場Ⅱ(リーフレット)

大阪大学数理・データ科学教育研究センター
大阪大学　数理・データ科学教育研究センター　2017

大阪大学日本語日本文化教育センター
大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究　第15号、センター広報　第23号、日本語・日本文化　第44号

大阪大学サイバーメディアセンター
Cybermedia Center, Osaka University、大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル　No.7

大阪大学経済学部同窓会
待兼山　第33号

生田美智子
大阪外国語学校第3回ロシア語科卒業アルバム

大阪大学出版会
大阪大学教員出版支援制度　募集要項(ポスター)

大阪大学生活協同組合
Campus Life　Vol.51、機関紙　阪大ウォーカー No.175

菅真城(大阪大学)
生産と技術　Vol.69No.2・Vol.69No.3　上・下巻

業務日誌(抄)　(2017年3月～2017年8月)

2017年

・３月９日　渉外本部から1950～70年代の医学部の写真について照会

・３月14日　菅、全国大学史資料協議会西日本部会2016年度第5回幹事会(関西学院大学大阪梅田キャンパス)に出席

・３月16日　菅、東京出張。第201回記録管理学会理事会(八雲クラブ)に出席

・３月31日　川口由美子事務補佐員退職(文書管理室)『大阪大学アーカイブズニューズレター』第9号を刊行

・４月１日　笠川佐穂理事務補佐員採用(文書管理室)

・４月10日　全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」開講。菅、「概観」講義

・４月14日　全学共通教育基礎セミナー「アーカイブズの世界に触れる」開講

・４月17日　菅、東京出張。第202回記録管理学会理事会(八雲クラブ)に出席

・４月18日　菅、全国大学史資料協議会西日本部会2017年度第1回幹事会(関西学院大学大阪梅田キャンパス)に出席

・４月22～23日
菅、東京出張。日本アーカイブズ学会2017年度大会(学習院大学)に出席

・４月25日　菅、京都出張。UNHCRアーキビスト モンセラート　カネラ　ガラヨア氏来日記念講演(京都大学)に出席

・４月28日　附属図書館吹田地区情報課からかつて大阪帝国大学に所属していた職員の履歴について照会
男女協働推進・社学連携課から大阪帝国大学理学部の昭和の写真について照会

・５月19日　法学研究科・高等司法研究科事務部から昭和23年度職員録の所蔵について照会

・５月23日　菅、京都出張。全国大学史資料協議会西日本部会2017年度総会・第1回研究会(立命館大学)に出席

・５月25日　菅、高松出張。第26回(平成29年度)香川県立文書館運営協議会に出席

・５月29日　菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「大阪帝国大学の創設と理学部の新設」講義

・６月２～３日
菅、福岡出張。記録管理学会2017年度研究大会(九州大学ほか)に出席

・６月８～９日
飯塚室長、菅、東京出張。全国公文書館長会議等(ベルサール飯田橋ファースト)に出席

・６月15日　菅、東京出張。第203回記録管理学会理事会(株式会社エフエム・ソリューション)に出席

・６月26日　菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「戦争と大阪大学」講義

・６月28日　学生から占領期の学生運動について照会

・６月29日　菅、京都出張。全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会総会・講演会(京都府立京都学・歴彩館)に出席

・７月１日　菅、2017年度第1回環境・市民アーカイブズ資料整理研究会(あおぞら財団)に出席

・７月10日　菅、全学共通教育先端教養科目「大阪大学の歴史」で「歴史を学ぶ　歴史に学ぶ」講義

・７月26日　第9回アーカイブズ運営委員会を開催

・８月１日　菅、全国大学史資料協議会西日本部会2017年度第2回研究会(神戸女学院大学)に出席

・８月７日　台風5号により暴風警報が発令されたため、午後臨時閉室

・８月９日　教員から大阪外国語学校人事記録の所蔵について照会

・８月14～16日
夏季一斉休業のため臨時閉室

・８月26日　社学共創本部設置に伴い、菅真城教授が社学共創本部教授となり、アーカイブズ兼任教員となる

大阪大学アーカイブズ利用案内

・開室日
次に掲げる日を除く毎日
(1) 日曜日及び土曜日
(2) 国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日
(3) 12 月 29 日から翌年の１月３日までの日

・利用時間
午前９時30分～午後４時30分

・利用請求の受付
午前９時30分～正午、午後１時～午後４時

大阪大学アーカイブズ構成員名簿

室　　長　　飯塚　一幸
（文学研究科・教授）

〈兼任教員〉

【法人文書資料部門】
菅　真城（社学共創本部・教授）
高橋明男（法学研究科・教授）
瀧口　剛（法学研究科・教授）
三阪佳弘（高等司法研究科・教授）
藤本愼司（工学研究科・教授）
阿部浩和（サイバーメディアセンター・教授）
中村征樹（全学教育推進機構・准教授）

【大学史資料部門】
菅　真城（社学共創本部・教授）
廣田　誠（経済学研究科・教授）
進藤修一（言語文化研究科・教授）
松永和浩（社学共創本部・准教授）
田口宏二朗（文学研究科・准教授）

〈事務担当〉

大阪大学総務部総務課文書管理室

室　　長　　池本　忠雄
（総務部総務課長）
室長補佐　　南野　晋也
主　　任　　阪田　久美子
事務補佐員　笠川　佐穂理
伊丹　英樹

OSAKA UNIVERSITY ARCHIVES

大阪大学アーカイブズニューズレター　第10号

発行日　2017年9月30日
編集発行　大阪大学アーカイブズ
〒562-8558
大阪府箕面市粟生間谷東８－１－１
Tel.（072）730-5113
Fax.（072）730-5114
E-mail office@archives.osaka-u.ac.jp
http://www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/facilities/ed_support/archives_room